第２回　リスナー参加型

天下一学問会

高校レベル

問題用紙

政治経済

作問者：いーんちょ

問題数：大問１問

記述式

解答時間：45 分

注意事項

1. 解答は専用フォームから行うこと

次ページより問題を掲載

政治経済問題

戦後から 1980 年代にかけての日本経済、および資本主義経済の思想の歴史的な変遷に関する次の文章を読んで、以下の問いに答えよ。

第二次世界大戦終戦後の廃墟から、日本経済はいくつかの要因を経て急成長を遂げた。1954 年から始まった（ア）は、(1)1970 年代初等まで波はありながらも大きな成長を続けていた。その途中で一時的な不況はあったものの、好調な安定成長期を迎えるなど、経済は活況であった。この頃の為替相場は 1 ドル 200 円～300 円台であり、現在 2024 年の 1 ドル 150 円前後と比べると大幅な（イ）であった。そのため次第に対米貿易黒字額が大きくなっていったことで日米の間に（ウ）が生じた。こうした事態を是正するため、1985 年 9 月、先進五カ国の財務大臣が会合を行い（エ）がなされた。これにより為替相場は大きな変動を受け日本経済は深刻な不況に見舞われた。(2)日本政府および日銀は景気刺激策を実施したが、その対応により資本が株式市場に流れたことでバブル経済へと突き進むことになった。

資本主義経済は当初、(3)国から規制を受けずに人々が自由な経済活動を行うことで拡大した。しかし規制のない自由な経済活動は貧富の差を急拡大させたことで深刻な社会問題となった。そこで(4)経済的な弱者を救済するために政府が積極的に経済活動へ関わる「（オ）」という考え方が生まれた。しかしこの考え方も次第に歪みが大きくなっていったことから、1980 年代から新自由主義の考え方が有力になっていった。新自由主義では対照的に「（カ）」という考え方に基づき政策が実施されることが増えた。日本では中曽根首相時代に(5)赤字企業を民営化する施策を進めていった例が挙げられる。他にも(6)規制緩和を強く推進することで、競争原理を働かせて市場を活性化する取り組みなどが行われている。

問1.空欄（ア）～（カ）に当てはまる適切な語句を記せ。

問2.下線部(1)について、日本経済の拡大に歯止めをかけることになった世界的な出来事を記せ。またその出来事によりなぜ景気が低迷したのか、具体的な資源名をあげながら説明せよ。

問3.下線部(2)について、どのような景気刺激策が有効であるか、政府および日銀の観点からそれぞれ説明せよ。

問4.下線部(3)について、このことを理論としてまとめ上げたイギリスの経済学者の名前とその著書名を述べよ。

問5.下線部(4)について、以下の２つの問いに答えよ。

(1) この思想は「修正資本主義」と呼ばれる。修正資本主義の提唱者として代表的な人物を以下から一人選べ。

ア　カール・マルクス

イ　ジョン・メイナード・ケインズ

ウ　ミルトン・フリードマン

エ　ポール・クルーグマン

(2) 「修正資本主義」が次第に批判されるようになった理由について、以下の用語をすべて含めて説明せよ。

（用語）　公共事業　　社会保障　　政策　　財政支出　　増税

問6.下線部(5)について、中曽根首相時代に民営化された国営企業に当てはまらないものを以下から一つ選べ

ア　日本国有鉄道

イ　日本電信電話公社

ウ　日本専売公社

エ　日本道路公団

問7.下線部(6)について、規制緩和の結果として新規参入しやすくなった業界の一つに航空会社がある。なぜそれまで航空会社の新規参入は規制されていたのか、以下の用語をすべて含めて理由を説明せよ。

（用語）　競争原理　　航空運賃　　安全性